

2022年12月1日

世界銀行が発行するサステナビリティボンド 「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について

大樹生命保険株式会社(代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」)は、この度、世界銀行(正式名称:国際復興開発銀行(IBRD))が発行する豪ドル建サステナブル・ディベロップメント・ボンド(以下「本債券」)への投資を実施しました。

本債券は、生物多様性の重要性を啓発することを目的に発行されました。生物多様性は、持続可能な開発、気候変動への対応力、そして人々が心身ともに健やかな生活を送るためには極めて重要です。近年は、「生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)」にて新たな世界目標の議論が進められるなど、一層重要性が高まっています。

生態系機能や経済的な生産性を維持するための「自然資本」は、動物、植物、海洋等の生物の多様性によって構成されています。世界のGDPの半分は、生物多様性および淡水、森林、自然景観、土壌などの生態系サービスからの恩恵を受けており、その損失に対する対応は急務です。なお、2030年までに生物多様性と生態系サービスの損失を回復させるには、年間7,000億ドルが必要だと推計されています。

世界銀行は自然資本に最大規模の資金を供与する国際機関の一つであり、本債券への投資資金は、世界銀行による低中所得国政府への融資を通じて、生物多様性の保全や、森林および土壌の生態系サービスの維持・管理等を含むあらゆる分野の開発プロジェクトの支援に活用されます。

これまでも当社では、環境債(グリーンボンド)や社会貢献債(ソーシャルボンド)、ESG投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

<本債券の概要>

発行体	世界銀行(国際復興開発銀行)
格付	AAA(S&P)
発行総額	50百万豪ドル
償還期間	15年

【世界銀行が取り組むプロジェクト事例】

メキシコ:生産性の高い森林ランドスケープでの事業強化



© World Bank

メキシコは生物多様性が特に高い国であり、その生態系は社会経済の発展に大きく寄与しています。同国の森林には 1,200 万人以上の人々が暮らしていますが、ほとんどが貧困層であり、その生活は地域の自然資源に直接依存しています。また同国の森林減少および劣化率は世界で最も高くなっており、同国の自然資本の損失に拍車をかけています。

本プロジェクトは、持続可能な森林管理の強化と、森林に依存して生活する人々や企業の経済的機会を創出することを目的としています。また、森林管理・森林保全・事業開発の強化や、バイオ炭素基金排出削減プログラムの新規設立等を通じ、支援を行っています。

プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください(英語):

<https://projects.worldbank.org/en/projects-operations/project-detail/P164661>

チュニジア:持続可能なオアシス景観管理プロジェクト



© World Bank

チュニジアのオアシスは交易の中心地や交通の中継地ですが、水の過剰使用・塩害・土壌の肥沃度の低下・生物多様性の喪失・気候変動の悪影響、などの脅威にさらされています。こうした課題は、伝統的なノウハウの損失・土地所有の分断化・女性の資産所有や意思決定の制限・市場への参加機会の制限等により一段と深刻になっています。

本プロジェクトは、オアシスの景観の統合開発・経済のガバナンス強化・持続可能な投資と所得創出活動の促進・オアシスの居住者の強靱性向上・女性を含めた脆弱層の社会的不安の軽減等を目的としています。また、気候変動に対応した持続可能な農業を実施し、節水・灌漑技術の習得・劣化した土地の回復・土壌の生物多様性等の保全を目指します。

プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください(英語):

<https://projects.worldbank.org/en/projects-operations/project-detail/P169955>

【本件と関連性の深いSDGsテーマ】



*** 上記プロジェクトは、事例のご紹介のみを目的としており、今回の世界銀行債券(世銀債)の資金の活用を上記プロジェクト又はその分野に限定するものではありません。**

以上